

知財人財育成研究分科会セッション

◆ R&D 人財と知財人財の関係を考える～その相似と相違から何を学べるか～ ◆

【パネリスト】 (敬称略: 五十音順)

浅見正弘 (あさみまさひろ) 【富士フイルム株式会社 参与】

江村克己 (えむらかつみ) 【日本電気株式会社 NEC フェロー】

峯木英治 (みねきえいじ) 【知的財産研究教育財団 知的財産研究所 統括研究員】

<モデレータ> 妹尾堅一郎 (本分科会担当理事、NPO 法人産学連携推進機構 理事長)

<総合司会> 中村正之 (本分科会幹事長、DNP テクノリサーチ)

【概要】 セッションの問題意識・背景

日本企業の産業競争力・事業競争力の強化に関して「知財関係者」はどれほどの寄与ができているのだろうか? これが本分科会の基本的な問題意識である。このテーマに沿って、ここ数年、学習や議論を行っている。

産業パラダイムの加速度的な**変容**に対応し、あるいはそれを先導して事業をいかに開発していくか…、そのために近未来の社会・産業・生活を俯瞰的に見通し、技術と知財マネジメントに一層の工夫をしなければならない。その時、R&D部門と知財部門がどのように手を携えて価値形成に寄与できるのだろうか?

この点を人財育成の観点から考えていくためには、そもそもR&D担当者と知財担当者のそれぞれがどのような資質・知識を持ち・行動するものであるか(実態)、あるいはどのような資質・知識を持ち・行動すべきであるのか(期待)を検討した上で、両者はどのような関係を持っているのか(実態)、あるいはどのような関係になっていくことが望ましいのか(期待)を考えることが極めて重要だろう。

このような問題提起に基づき、日本の大企業において「R&D部門」「知財部門」の両方の責任者を務められた方々から、具体的な現場感覚に基づきつつも、大所高所からの議論をしていただくことを企画した。

【パネリスト・モデレータ略歴】

浅見 正弘 (あさみ まさひろ) 【富士フイルム株式会社 参与】

日本知的財産協会参与(前理事長)、日本化学会監事、日本工学アカデミー正会員。

1980年東京大学大学院理学系研究科化学専攻課程修士修了、同年富士写真フイルム株式会社入社、足柄研究所にて感光材料の開発研究に従事、2004年デジタル&フォトイメージング材料研究所副所長、2006年知的財産本部長、2008年執行役員、2009年先端コア技術研究所長、2013年取締役執行役員R&D統括本部長、2015年知的財産本部長、2017年フェロー、2019年より現職。文部科学省国立研究開発法人審議会委員、物質材料研究機構部会副部会長、科学技術振興機構さきがけ・CRESTで領域運営アドバイザー等を務める。専門は無機溶液化学、材料科学全般だが、現在は参与として経営における技術戦略、知財戦略を担当。

知財人財育成研究分科会セッション

◆ R&D 人財と知財人財の関係を考える～その相似と相違から何を学べるか～ ◆

江村克己 (えむらかつみ) 【日本電気株式会社 NECフェロー】

1982年光通信技術の研究者としてNECへ入社。製品企画部門での経験やNEC知財部門のトップを経て、2010年に中央研究所を担当する執行役員へ就任。取締役 執行役員常務兼CTO、2019年4月から取締役NECフェロー就任、同年6月からNECフェロー。1987-1988米国Bellcore客員研究員。工学博士(東大)。総務省 情報通信審議会委員、一般社団法人 日本経済団体連合会 イノベーション委員会企画部会長、産業競争力懇談会(COCON) 実行委員、BIAC (Business at OECD) イノベーション・技術委員会副委員長、アジア開発銀行(ADB) デジタル技術アドバイザリーグループメンバー、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) AIP ネットワークラボ長、センターオブイノベーション(COI)プログラム ビジヨナリーチームメンバー。情報処理学会 会長、一般社団法人 電子情報通信学会(IEICE) フェロー、企画戦略室長(理事)、京都大学経営管理大学院 特命教授。

峯木 英治 (みねきえいじ) 【知的財産研究教育財団 知的財産研究所 統括研究員】

1980年：東京大学 理学部 物理学科卒業

1980年：株式会社ブリヂストン入社

2000年：TB (トラック・バス用) タイヤ開発部長

2001年：OR (建設車両用) タイヤ開発部長

2003年：ブリヂストン アメリカ アクロン技術センター生産財タイヤ開発担当 VP

2008年：株式会社ブリヂストン AG・CV (農業用・バイアス) タイヤ開発部長

2009年：知的財産第2部長

2010年：知的財産本部長

2018年：一般財団法人 知的財産研究教育財団 知的財産研究所 統括研究員

【モデレータ】

妹尾堅一郎 (せのお けんいちろう) 【NPO法人 産学連携推進機構 理事長】

日本知財学会理事(本分科会担当)。慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産業能率大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学や一橋大学 MBA 等の客員教授を歴任して現職。現在も東京大学等で院生や社会人を指導。CIEC (コンピュータ利用教育学会) 前会長、研究・イノベーション学会参与(前副会長)。内閣知的財産戦略本部専門調査会前会長、農水省技術会議前委員ほか、多くの省庁委員や大手企業役員を歴任。イノベーションとビジネスモデルに関する研究と教育を続ける。著訳書多数。中でもベストセラーになった『技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか』は題名が流行語にもなった。平成20年度産業財産権制度関係功労者表彰、経済産業大臣表彰。